

画質自動評価システム「Video Probe」

1997 年（平成 9）に、視覚特性を考慮した世界初のリアルタイムデジタル画像品質自動評価装置「Video Probe」を開発した。原画像と圧縮・再生画像をリアルタイムで比較しながら評価値を出力する。人間の視覚特性に基づく独自の Noise Weighting 技術を用いており、従来方法に比べ評価精度が大幅に向上している。本システムは通信事業者だけでなく、DVD 製造工程や放送局などで広く使用されている。

出典：KDD 社史